

育成すべき資質・能力の 三つの柱	大泉の自主・自律・創造	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識・技能 何を理解しているか 何ができるか	興味関心をもち、 課題を発見する力	興味関心をもつことができない。	身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題に興味関心をもつことができる。	学校外の話題や地域社会の話題など幅広い分野に興味関心をもち、課題を発見することができる。	社会的な話題や学術的な話題など幅広い分野に興味関心をもち、聞いたり読んだりしたことを、既習の知識や技能と関連付けたり組み合わせたりして、意欲的に課題を発見することができる。	世界の出来事に目を向け、幅広い分野に興味関心をもち、聞いたり読んだりしたことを、既習の知識や技能と関連付けたり組み合わせたりして、課題の本質を発見し続けることができる。
	自分の可能性を信じ、 やり抜く力	学習活動に粘り強く取り組むことができない。	学習活動に粘り強く取り組むことができる。	学習活動に見通しをもって粘り強く取り組むことができる。	学習活動に見通しをもって粘り強く取り組み、自己を振り返ることができる。	学習活動に見通しをもって粘り強く取り組み、自己を振り返って、次につながる主体的な学びができる。
	挑戦する力	身に付けた知識や技能を活用しながら話したり、読んだりしようとするのができない。また、与えられた課題に対して、支援を得ながら挑戦しようとするのができない。	身に付けた知識や技能を活用しながら話したり、読んだりしようとするができる。また、与えられた課題に対して、支援を得ながら挑戦しようすることができる。	間違いを恐れず、身に付けた知識や技能を活用しながら話したり、読んだりしようとする。また、与えられた課題に対して、支援を得ながら挑戦することができる。	間違いを恐れず即興で話したり、難易度の高い文章に遭遇しても、既習の知識を使いながら読み進めたりすることができる。また、間違えたことを次に生かし、課題に挑戦することができる。	間違いを恐れず即興で話したり、難易度の高い文章に遭遇しても、既習の知識を使いながら読み進めたりすることができる。また、間違えたことを次に生かし、課題に挑戦し続けることができる。
思考力・判断力・表現力等 理解していること・できることを どう使うか	解決に向けて 論理的に思考する力	話し手や書き手のことを意識し、考えることができない。	話し手や書き手のことを意識し、考えることができる。	話し手や書き手の意図などを考え、資料から理由や根拠を考えて、いくつかの視点から物事を考えることができる。	話し手や書き手の意図などを把握し、資料の収集・分析をすることで、理由や根拠を考慮して、多角的な視点から物事を考えることができる。	話し手や書き手の意図などを的確に把握したり、資料の収集・分析をすることで、理由や根拠を明らかにしたりして、多角的な視点から物事を考えることができる。
	自他の違いを認め、 思いやる力	目的に応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮することができない。	目的に応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮することができる。	外国語の背景にある文化を意識し、目的に応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮することができる。	外国語の背景にある文化を理解し、コミュニケーションを行う目的に応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮することができる。
	学びを実践に移す力	目的に応じて、学習した語彙で伝え合うことができない。	与えられた情報から、目的に応じて、特定の語彙で伝え合うことができる。	与えられた情報をもとに、コミュニケーションを行う目的に応じて、特定の語彙や表現方法で伝え合うことができる。	理解した情報などをもとに、コミュニケーションを行う目的に応じて、使用する語彙や表現方法を変え、伝え合うことができる。	理解した情報などを整理したうえで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、使用する語彙や表現方法を変えたりして、適切に伝え合うことができる。
学びに向かう力・人間性等 どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか	自ら学びを継続する力	主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができない。	主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとし、外国語の習得に継続して取り組むことができる。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとし、どのような学習が必要かなどを自ら考え、外国語の習得に継続して取り組むことができる。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとし、どのような学習が必要かなどを自ら考え、外国語の習得に継続して取り組み、他者に良い影響を与えることができる。
	多様な人々と協働する力	聞き手、読み手、話し手、書き手の文化的背景に配慮しながら、行動を共にすることができない。	聞き手、読み手、話し手、書き手の文化的背景に配慮しながら、行動を共にすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、協力して行動を共にすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、協力して課題の解決をすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を引き出したしりして、出てきた意見や感想について議論を重ねたりしながら、協力して課題の解決をすることができる。
	自己実現に向かう力	身に付けた知識及び技能を基に、自己の生き方を考えることができない。	身に付けた知識及び技能を基に、自己の生き方を考えることができる。	自己の生き方を考えながら、身に付けた知識及び技能を活用し、試行錯誤を繰り返して課題に対処することができる。	自己の在り方生き方を考えながら、身に付けた知識及び技能を活用し、試行錯誤を繰り返して課題に対処し、国際社会において活躍するために必要なことを理解することができる。	自己の在り方生き方を考えながら、身に付けた知識及び技能を活用し、試行錯誤を繰り返して課題に対処し、国際社会において活躍するために努力を重ねることができる。